

ず〜 Zooっと平川

創刊号

特集1

平川動物公園40年の歴史

特集2

ホワイトタイガー 成長の記録



平成24年1月撮影

なんでもランキング くらべんみやり 動物公園売店人気商品ランキング

(去年1年間・食品以外)

くらべんみやり／鹿児島市平川動物公園売店



携帯ストラップ

ホワイトタイガーやレッサーパンダが人気です

〈売上個数〉14,131個



携帯クリーナー

携帯の液晶クリーナー付きストラップです

〈売上個数〉3,824個



ホワイトタイガー ぬいぐるみ

つぶらなひとみが人気の秘密?

〈売上個数〉2,354個



鹿児島市 平川動物公園

携帯サイトへアクセス!

編集・発行



公益財団法人

鹿児島市公園公社

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328
■開園時間:午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)
■休園日:12月29日～1月1日
URL <http://hirakawazoo.jp/>



〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
TEL.099-221-5055
FAX.099-223-5690

この度、公益財団法人鹿児島市公園公社から平川動物公園情報誌「ZOOっと平川」が創刊されますことを、心よりお祝い申し上げます。

鹿児島市平川動物公園は昨年、昭和47年10月14日に前身の鴨池動物園から移転・開園して以来40周年という記念すべき節目を迎えました。緑豊かな自然に囲まれた、およそ31万4,000平方メートルもの広大な敷地面積を誇る園内には、コアラやホワイトタイガーなど数多くの動物が飼育され、また、雄大な桜島と波静かな錦江湾をバックに、アフリカ園の素晴らしいロケーションが広がるなど、全国でも有数の動物公園として、これまでに、2,200万人を超える多くの方々にご来園いただいております。

これもひとえに、市民の皆様をはじめとする来園者の方々や、動物公園を支えていただいております市公園公社など事業者の方々のご理解、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

市公園公社は、本年度、前身となる財団法人鹿児島市動物公園協会(平成5年から財団法人鹿児島市都市施設管理公社)が設立されてから40周年を迎えられましたが、この間、平川動物公園とともに着実に歩みを重ねてこられました。

そして、昨年4月に、現在の名称に改めるとともに公益財団法人へと移行し、新たな一歩を踏み出されました。現在では、飼育業務をはじめとする園の運営業務のほか、動物愛護や自然保護の啓発活動等にも積極的に取り組んでおられます。

本誌は、そのような新たな取組の一つとして創刊されたものであり、平川動物公園の動物たちの生き生きとした表情や、旬な話題や魅力を、広く、わかりやすく発信してくれるものと、大いに期待しているところでございます。

本市といたしましては、今後とも市公園公社のお力添えをいただきながら、生き生きとした動物達とふれあえる環境づくりや展示の充実など、さらに魅力的な施設づくりを進めてまいりたいと考えております。

結びに、公益財団法人鹿児島市公園公社の益々のご発展と、本誌が多くの皆様にご覧いただき、親しまれ、「ZOOっと」愛読される情報誌となりますことを心からお祈り申し上げます。創刊にあたってのお祝いのことばといたします。



鹿児島市長
森 博幸



もっと楽しく、もっと便利に！

平成27年度までに動物公園が変わります

平川動物公園 リニューアル

こんな動物公園になります！

- ① 人にやさしい動物公園
(園路勾配緩和や授乳室などを備えた多目的スポットの整備など)
- ② 動物にやさしい動物公園
(放飼場の拡大や温泉を活用した飼育環境の整備など)
- ③ 南国鹿児島らしい特色ある動物公園
(足湯や五位野川への親水デッキの整備など)



新しい施設で
お待ちしております！

※これから整備を行うゾーン等については「整備」、すでに完成したゾーン等については「完成」という表現をしています。
※パース図については、基本設計又は実施設計のものを使用しています。



鴨池動物園時代 1915▶1972

1915年(大正4年)5月30日
鹿児島電気軌道株式会社が
二軒茶屋遊園地に動物園新設
翌年、鴨池へ移転
昭和3年に鹿児島市に移管



1926年(大正15年)
大庭園完成



1943年(昭和18年)10月6日~31日
防空対策上、ライオン・クマ・ワニ・ニ
シキヘビを殺処分
動物慰霊祭を行う



1951年(昭和26年)6月
鹿児島大学水産学部の留学生、タイのウドム・サン
カサブ氏がゾウ1つがいを寄贈



1955年(昭和30年)5月・10月
キリンが2頭来園
タカコ・ナガオと名付けられる



1963年(昭和38年)10月3日
園内でモノレール営業開始



1958年(昭和33年)6月1日
鴨池水族館オープン、2年後動物園と
一体化



1972年(昭和47年)
動物移送開始

特集1

平川動物公園の歴史

鴨池動物園開園から98年、
平川動物公園開園から40年たちました

平川動物公園時代 1972▶2013

1972年(昭和47年)10月14日
平川動物公園開園



1985年(昭和60年)4月10日
アマミノクロウサギ繁殖



1984年(昭和59年)10月25日
コアラ来園 11月20日 初公開



1985年(昭和60年)4月26日
ルリカケス繁殖



1993年(平成5年)3月8日
エラブオオコウモリ繁殖



1998年(平成10年)9月16日
フトコビナマケモノ繁殖し人工保
育成功



2000年(平成12年)6月20日
ソデグロツル空輸精液による人工
授精で誕生



2006年(平成18年)10月26日
日本動物園水族館飼育技術者研究会が鹿児島
で開催され、秋篠宮親王殿下ご来園。



2010年(平成22年)3月17日
カバ来園 飼育開始

特集2

ホワイトタイガー

成長の記録



ガク(オス)

ココキ(メス)

ホワイトタイガー

トラが突然変異で白く生まれた「白変種」です。中部インドで見つかり、中国では「白虎」(びゃっこ)と呼ばれ、神様とされています。

また、完全にシマのない真っ白な白変種もいます。

**父親
タイガ(オス)**
立派に見えますが、実はおとなしい性格

**母親
コハク(メス)**
神経質で、おてんば



平成23年5月に中国からやってきました

人工保育

猫用の人工ミルクを与えました。

ミルクを飲んだ後に、お尻をタオルで優しくマッサージし、尿や便をさせました。親がなめて排泄させる代わりに。



生まれた直後



便や尿をさせているところ

人工保育にしたわけ

平成23年11月18日に出産しました。母親のコハクは始めは世話をしているようでしたが、初めての子育てのためか4頭の内、2頭が死んでしまいました。

残った2頭を生かすために、11月23日人工保育にふみ切りました。

現在の様子

2頭で仲良く追いかけて遊んだりして、遊んでいます。

エサを2カ所、はなれた場所に置かないと、ケンカをして取り合いになります。

体はすっかり大きくなりました。

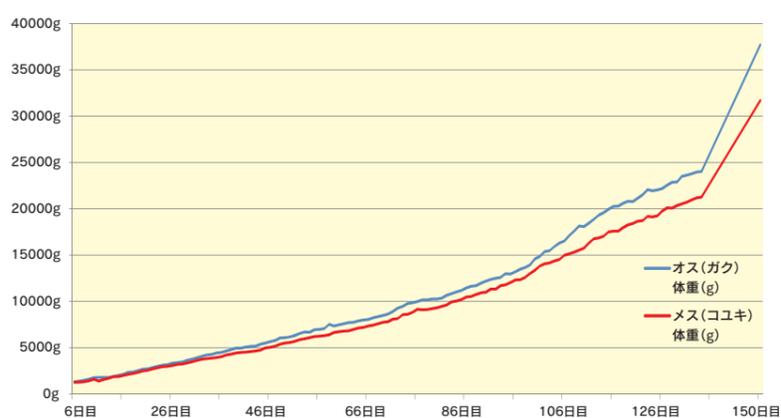


高い所も届きます

授乳量の変化

経過日数	1日平均授乳回数	1日平均授乳量(ml)	
		オスガク	メスコキ
14日目	5	322	281
54日目	5	531	489
76日目	4	657	565
114日目	2	504	491
165日目	1	215	211

体重の記録



担当者のコメント

母乳の味を知っていたので、人工乳を飲んでもらうまでが苦労しました。家に連れて帰って夜も哺乳していましたが、遊びざかりになると、買ったばかりのソファアが、かんだり引っかいたりしてボロボロにされました。

一日のエサ(1頭あたり)

ブロイラー 約3kg
馬肉 約0.5kg

「野生のトラは毎日獲物がとれるわけではなく、何日も食べられない日があります。そのため、毎日規則正しくエサをあたえていると不健康になるおそれがあり、動物園では週に1日絶食日をもうけています。」



水遊び大好き



暑い日は水の中で涼みます。平川の「ガク」と「ココキ」は水しぶきにじゃれついたり、水浴びをして遊びます。

強力な前足



トラの爪は鋭く、また前足のパンチはとても強力です。目立つ場所に爪あとを残して、なわばりを主張します。

虎耳状斑(こじじょうはん)



耳の後面には半月形の虎耳状斑と呼ばれる模様があります。ヒョウ属の特徴です。



むぜもんじや・鹿児島弁でかわいいねの意味

アビシニアコロブス (名前) レオ (オス) 平成24年9月17日生まれ



生後10日目

こんな動物

霊長目オナガザル科
アフリカに分布
主食：木の葉

全身まっ白の赤ちゃん

赤ちゃんは生まれた直後は、きれいなピンク色の肌と、純白の毛でおおわれていて、親とは全く違います。

生後1カ月目



ちょっとずつ黒く・・・

生後5日目あたりから黒い毛が出てきて、1カ月もたつと、手、足、耳などがはっきりと黒くなってきます。

ブルートウ(父)、リンス(母)、リル(姉)と一緒に暮らしています



一家そろって

最初のころは、とても不思議そうに赤ちゃんを見ていたお姉さんたちも、抱きかかえたりして、家族みんなで子育て中です。

ピントロング (3頭) (名前) サーム(オス)・テイガ(オス)・テイナ(メス)

平成24年6月11日生まれ



母親のチャコ(5歳・右奥)と生後21日目の子供たち

こんな動物

食肉目ジャコウネコ科
東南アジアに分布
主食：果物・小動物

心配しました

生まれてすぐに、母親のチャコが台の下にこもってかかえてしまい、鳴き声は聞こえるものの、姿が確認できず心配しました。次に姿を見せたのは7日後のことでした。

生後50日目



日光浴開始

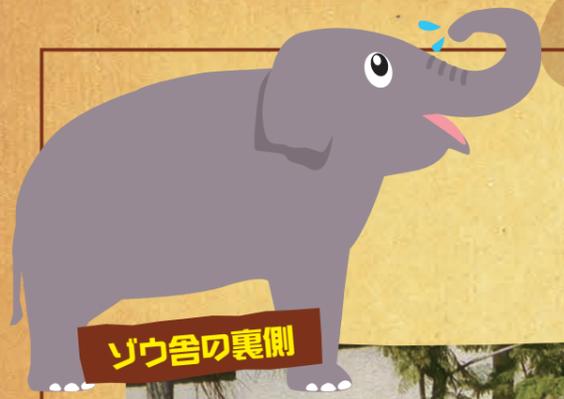
生後1カ月で、寝室内の木の枝に登ったりするようになりました。生後40日目から展示場に出して日光浴をさせるようになりました。

生後4カ月目



じょうぶで器用なシッコ

ピントロングらしく、太いシッコを木に巻きつけてぶらさがり、逆さになってじゃれあう姿もよく見られます。元気に育ってほしいです。



ゾウ舎の裏側

潜入！動物公園

動物公園の裏側レポート

ここには、インドゾウが2頭展示されています



2頭とも1976年生まれ(推定)

寢室の出口

この横棒一本で、ゾウは寢室から外へは出られません。

この棒のことを「^ま馬せん棒^{ぼう}」といいます。外へ出すときは棒を上上げます。



馬せん棒



サブ放飼場(パドック)です。放飼場に展示するときも寢室に収容するときも必ずここを通ります。



ゾウ舎を屋上から見たところです。ゾウがカベにあるガラスから入園者をこんな感じで見えています。

なるほど!

ゾウ舎の工夫いろいろ

設備



正面のカベにある大小の四角い穴は、シェルターからゾウを見るためのガラスと、エサの投入口です。ゾウが投入口からエサを食べるとき、床にある体重計に乗るので重さがわかります



ゾウ担当者の大事な仕事

健康管理のためのトレーニングです。これを毎日行うことで、病気予防やケガの治療が可能になります。写真は、オスゾウが左うしろ足を出しているところです。こうやって爪の手入れをします。



担当者のおすすめ

午後4時以降は裏に回ればご覧のとおり。大好きな食事の時間で、食べる様子が間近で見られます。ただし、オスゾウは人に水をかけることがあるので注意が必要です。



カベにあるたくさんの丸い穴にエサを隠しておくと、ゾウは探しながら食べます

